

大町エネルギー博物館で、「エネルギー」を考える

北アルプスの山々より下る豊富な水の運動エネルギーは電気へと変換され、大正・昭和・平成の各時代を通じて様々な役割を担ってきました。北アルプス山麓、高瀬溪谷入口に位置する、大町エネルギー博物館では各種模型や実験装置などにより「エネルギー」の基礎について楽しく学ぶことができます。また、水車発電機など屋外の実物展示にふれ、水力エネルギー開発の歴史に思いを馳せ、エネルギーの流れについて考えてみる。そんなひとときを過ごしてみてはいかがでしょうか？



実施可能時期	4月1日～11月30日
所要時間	1～2時間
対象	小学生・中学生・高校性
対応可能人員	30人程度迄

① プログラムの流れ

水車・発電機(屋外展示)見学(10分) ===
 発電のしくみについて学習(10分) ===
 ボールコースター実演(エネルギーの流れ)(10分)
 === 北アルプスジオラマ見学(5分) ===
 館内自由見学



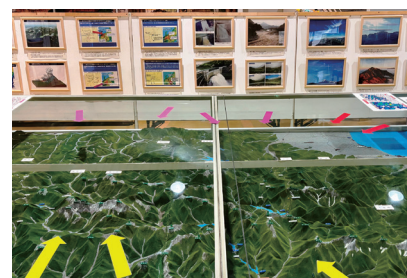
高瀬川第一発電所水車発電機(大正11年～平成2年まで稼働)



黒部ダムで使用していたコンクリートバケット



ボールコースター(鉄球を転がしてみよう)



展示室(北アルプスジオラマ他)

Learning Point

探究学習のポイント

事前学習

課題の明確化

熱エネルギー、光エネルギーなど、「エネルギー」と名のつくものをピックアップしてみましょう。また、水力発電、火力発電など、「発電」と名のつくものをピックアップしてみましょう。

現地学習

答えを導く

水車発電機(屋外展示)を観察し、実物の重量感を体験します。模型や装置を使って、各種発電の仕組みについて学びます。発電とエネルギーの関係について考察します。

事後学習

掘り下げる

時間や空間を拡張した視点で、「再生可能エネルギー」とはどういうものか、定義してみましょう。



大町エネルギー博物館で、 「エネルギー」を考える

事前学習

課題の明確化

熱エネルギー、光エネルギーなど、「エネルギー」と名のつくものをピックアップしてみましょう。
また、水力発電、火力発電など、「発電」と名のつくものをピックアップしてみましょう。

現地学習

答えを導く

水車発電機(屋外展示)を観察し、実物の重量感を体験します。模型や装置を使って、各種発電の仕組みについて学びます。発電とエネルギーの関係について考察します。

事後学習

掘り下げる

時間や空間を拡張した視点で、「再生可能エネルギー」とはどういうものか、定義してみましょう。